



2021年12月16日（木）

各位

小さなお子様*¹から使える
敏感肌向け最高*²UVカット効果の日焼け止め
「**ミノン[®]UVマイルドミルク**」を新発売

発売日：2022年2月25日（金）

第一三共ヘルスケア株式会社（本社：東京都中央区、社長：吉田勝彦）は、敏感肌向けブランド「ミノン」から、日焼け止め乳液「ミノンUVマイルドミルク」（医薬部外品）を2022年2月25日（金）に新発売します。



このたび発売する「ミノンUVマイルドミルク」は、敏感肌向けでありながら、最高UVカット効果を併せ持つ日焼け止め乳液です。肌へのやさしさを考えた低刺激性処方であると同時に、肌あれを防ぐ「グリチルリチン酸2K」と3種のバリア機能サポート成分「SPL*³・アミノ酸系セラミド類似成分*⁴・バイオグリコーゲン**⁵」配合で肌あれを防ぎながら紫外線をカットし、健やかな肌に導きます。

バリア機能が低下しがちな敏感肌の方、小さなお子様から高齢の方まで家族で使えます。

〔製品特長〕

- ◎ 肌を守りながら肌あれを防ぐ独自処方。3種のバリア機能サポート成分と肌あれを防ぐ成分を配合。
- ◎ やさしさを考えたこだわり処方。紫外線吸収剤フリー、パラベンフリー・アルコールフリー、無香料・無着色、アレルギーテスト済み、スティンギングテスト済み。（全ての方にアレルギーや皮膚刺激が起こらないわけではありません）
- ◎ SPF50+ PA++++で最高UVカット効果。
- ◎ 顔にもからだにも、小さなお子様から高齢の方まで使えます。
- ◎ 汗・水に強いウォータープルーフ。
- ◎ さらっとしてべたつかない乳液タイプで、化粧下地としても使えます。

*1 生後6カ月以上推奨 *2 SPF50+ PA++++ ミノンブランド内比較 *3 Self Protection Lipid コレステロール：保湿

*4 ラウロイルグルタミン酸ジ（コレステリル・ペヘニル・オクチルドデシル）：保湿 *5 グリコーゲン：保湿 原料名「バイオグリコーゲン」は江崎グリコ株式会社の登録商標です。

1. 発売の背景

20～60代女性の約7割が自身の肌は「敏感肌と感じる」と自覚しており、若年層ほどその傾向がみられます【図1】。敏感肌を自覚している人において日焼け止めを購入する際に重視する点は、「日焼け止め効果が高い」（64%）、「べたつかない使用感」（53%）、「顔にもからだにも使える」（42%）、「敏感肌でも使える」（35%）が挙げられ、効果に加え、肌へのやさしきや使いやすさを求めていることが分かりました【図2】。

また、敏感肌を自覚している20～40代女性の約7割が自分自身に、半数近くがお子様にも日焼け止めを日常的に使用しています【図3-1・2】。さらに、日焼け止めの親子共用率は、お子様が2歳以下の家庭で3割程度、3～5歳の家庭で半数近くに上ります【図4】。

「ミノン」は50年近くにわたり敏感肌の悩みに寄り添ってきました。敏感肌の保湿ケアには、これまでのラインアップでカバーしてきた「洗う」「塗る」に加え、紫外線などの外部刺激を「防ぐ」ことが大切だと考え、このたび、親子で一緒に使える日焼け止め乳液「ミノンUVマイルドミルク」を追加しました。

【図1】

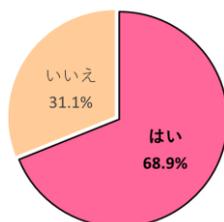


【図2】



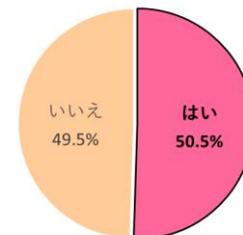
【図3-1】

Q. あなたご自身は
日常的な外出時に日焼け止めを使用しますか

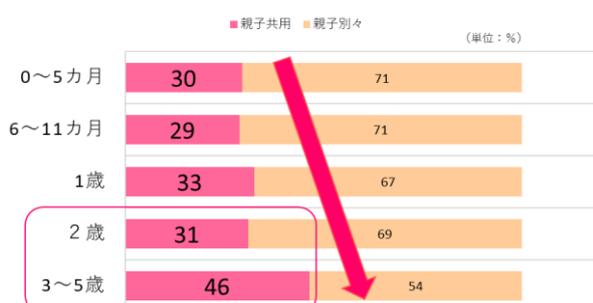


【図3-2】

Q. あなたはお子様に
日常的な外出時に日焼け止めを使用しますか



【図4】 日焼け止めの親子共用率



2. 「ミノン」ブランドについて

1973年、化粧品アレルギーによる肌トラブルをなくしたい、という思いから誕生したミノン。ブランド名は、開発当時から目指している「3つのNon」(Non-allergic:アレルギーの原因物質を極力カット、Non-alkaline:弱酸性、Non-toxic:低刺激性)に由来しています。

赤ちゃんから高齢の方までお使いいただけるブランドであり続けるために、一貫して今もこの哲学を守っています。



「ミノン」(現・「ミノンスキンソープ」)
1973年発売

「ミノン」ブランドサイト：www.minon-amino.jp

製品概要

製品名	「ミノンUVマイルドミルク」 (販売名：DSUVマイルドミルク)
分類	医薬部外品（日焼け止め乳液）
包装	80mL
価格	ノープリントプライス
成分	<有効成分>グリチルリチン酸2K <その他の成分>デカメチルシクロペンタシロキサン、低温焼成酸化亜鉛、パルミチン酸2-エチルヘキシル、微粒子酸化チタン、1,3-ブチレングリコール、メチルシロキサン網状重合体、リンゴ酸ジイソステアリル、グリセリルグルコシド液、メチルポリシロキサン、ポリヒドロキシステアリン酸、オクテニルコハク酸トウモロコシデンブンエステルアルミニウム、ポリオキシエチレン・メチルポリシロキサン共重合体、メチルヒドロジェンポリシロキサン、セスキイソステアリン酸ソルビタン、水酸化アルミニウム、架橋型メチルポリシロキサン、ラウロイルグルタミン酸ジ（コレステリル・ベヘニル・オクチルドデシル）、フェノキシエタノール、セスキオレイン酸ソルビタン、含水ケイ酸、グリコーゲン、コレステロール

<ご参考>

第一三共ヘルスケアについて

第一三共ヘルスケアは、第一三共グループ*6の企業理念にある「多様な医療ニーズに応える医薬品を提供する」という考えのもと、生活者自ら選択し、購入できるOTC医薬品の事業を展開しています。

現在、OTC医薬品にとどまらず、スキンケアやオーラルケアへと事業領域を拡張し、コーポレートスローガン「Fit for You 健やかなライフスタイルをつくるパートナーへ」を掲げ、その実現に向けて取り組んでいます。

こうした事業を通じて、自分自身で健康を守り対処する「セルフケア」を推進し、誰もがより健康で美しくあり続けることのできる社会の実現に貢献します。

*6 第一三共グループは、イノベティブ医薬品（新薬）・ジェネリック医薬品・ワクチン・OTC医薬品の事業を展開しています。